

東日本大震災の救援活動のため 浚渫兼油回収船「海翔丸」が仙台港に向けて出動

東日本大震災の救援活動のため、九州地方整備局所属の大型浚渫兼油回収船「海翔丸」が、3月12日(土)12時45分に基地港の北九州港から仙台港に向けて、出港しました。途中、横須賀港において、投光器、発電機等の資機材を積込み、3月16日(水)午前中に仙台港沖に到着予定です。

その後、被災地域で災害復旧に向けての支援拠点本部として、港湾の復旧活動の支援や、流出した油を発見した際の防除作業を実施します。

1. 出港船舶(大型浚渫兼油回収船「海翔丸」)の概要

【概要】 日本最大級の最新鋭浚渫兼油回収船。海底の土砂をさらって航路を整備する「浚渫」と、事故等で海に流出した油を取り除く「油回収」の機能を有する。

【所属】 九州地方整備局 関門航路事務所 (基地港 ; 北九州港)

【諸元】 総トン数 4,651トン、全長103m、最大速力13.3ノット

2. 輸送物資等

- ・ 発電機付き発電機投光器セット21台
- ・ 水、非常食、非常用品

3. 出動行程

- ・ 3月12日(土)12:45 北九州港出港
- ・ 3月14日(月)9:00 横須賀港入港
- ・ 3月14日(月)15:55 資材積込出港
- ・ 3月16日(水)午前中 仙台港沖到着予定



【問い合わせ先】

九州地方整備局

港湾空港部

港湾空港防災・危機管理課

課長 : 池田 正彦

課長補佐 : 村上 真彦

電話 : 092-418-3375

FAX : 092-418-3054